

第15回岩手山焼走りマラソン全国大会



給水所で水分を補給し、弾みをつけてゴールを目指すランナー



全国から参加した選手を代表し、松尾中の高橋拳人君が、選手宣誓で健闘を誓いました



みのり ひかり
駆けよ!! 農と輝の大地を 風のごとく

今年で15回目を迎え、八幡平市として初の開催となる岩手山焼走りマラソン全国大会。箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)で総合4連覇などに輝く駒沢大学陸上競技部を招待選手に迎え、全国から652人のランナーが、夏の八幡平路を舞台に健脚を競いました。

焼走りコース(10.8km、標高差292m)

	氏名	年齢・住所	記録	人数	
招待選手	①深津 卓也	18歳・駒沢大学	36分10秒	8	
	②加藤 直樹	22歳・駒沢大学	36分23秒		
	③堺 晃一	20歳・駒沢大学	36分33秒		
16歳以下	男子	①藤原 孝志	25歳・盛岡市	40分36秒	48
	男子	②鳴海 昭紀	20歳・盛岡市	41分41秒	
	男子	③村上 和之	20歳・盛岡市	42分05秒	
女子	①菊池 菜奈	18歳・遠野市	58分06秒	1	
30歳以下	男子	①松山 利明	30歳・青森県八戸市	41分33秒	41
	男子	②山田 智弘	37歳・盛岡市	42分15秒	
	男子	③高畑 政弘	34歳・鹿角市	43分09秒	
女子	①伊藤 由希恵	39歳・盛岡市	54分37秒	5	
女子	②高橋 メグミ	31歳・滝沢村	63分18秒		
女子	③鈴木 美津子	33歳・福島県郡山市	77分41秒		
40歳以下	男子	①鶴ヶ崎 春彦	45歳・青森県八戸市	43分16秒	60
	男子	②山本 勝男	41歳・二戸市	49分02秒	
	男子	③佐々木 政明	46歳・宮古市	51分11秒	
女子	①高橋 文恵	40歳・八幡平市	54分00秒	14	
女子	②小西 紀江	40歳・青森県八戸市	55分32秒		
女子	③三戸 せい子	46歳・青森県八戸市	57分37秒		
50歳以下	男子	①安藤 徹	55歳・八幡平市	46分14秒	84
	男子	②藤井 豊	57歳・釜石市	46分35秒	
	男子	③島田 正一	50歳・埼玉県秩父市	49分04秒	
女子	①松岡 子ヨ子	52歳・花巻市	54分16秒	11	
女子	②佐藤 裕子	51歳・岩泉町	56分09秒		
女子	③吉田 ヨシ子	52歳・盛岡市	58分08秒		
60歳以上	男子	①内海 豊次郎	64歳・宮城県塩釜市	51分55秒	34
	男子	②小沼 繁	61歳・紫波町	55分25秒	
	男子	③高橋 敏男	63歳・北上市	55分32秒	

まきばコース(5.3km、標高差60m)

	氏名	年齢・住所	記録	人数	
中学生	男子	①三浦 悟	14歳・岩手町	19分46秒	152
	男子	②米沢 陽平	14歳・二戸市	20分46秒	
	男子	③高橋 拳人	12歳・八幡平市	20分48秒	
女子	①山館 美輝	13歳・二戸市	25分27秒	78	
女子	②工藤 歩	14歳・二戸市	26分25秒		
女子	③笹森 純香	14歳・八幡平市	27分14秒		
16歳以下	男子	①佐藤 瑞希	23歳・矢巾町	17分24秒	20
	男子	②原田 健児	22歳・奥州市	19分25秒	
	男子	③高橋 康生	28歳・盛岡市	19分29秒	
女子	①佐藤 裕美	29歳・盛岡市	20分58秒	11	
女子	②寺沢 里美	21歳・花巻市	21分46秒		
女子	③八重樫 理沙	20歳・花巻市	22分43秒		
30歳以下	男子	①飯塚 仁	35歳・宮城県栗原市	19分01秒	10
	男子	②佐藤 代和	34歳・一戸町	19分16秒	
	男子	③田村 孝	38歳・八幡平市	19分45秒	
女子	①佐々木 暁子	31歳・八幡平市	28分17秒	5	
女子	②藤井 和佳子	30歳・花巻市	31分13秒		
女子	③川端 一美	41歳・宮古市	33分19秒		
45歳以下	男子	①虫壁 新一	46歳・花巻市	19分40秒	23
	男子	②山本 秀	46歳・秋田県鹿角市	22分01秒	
	男子	③讀枝 誠二	56歳・滝沢村	22分22秒	
女子	①澤田 芳子	50歳・滝沢村	25分42秒	7	
女子	②木沢 順子	56歳・宮古市	27分56秒		
女子	③川田 百合子	49歳・北上市	29分09秒		
60歳以上	男子	①山崎 好明	61歳・青森県弘前市	22分30秒	35
	男子	②椿 喜一郎	61歳・茨城県龍ケ崎市	22分37秒	
	男子	③浅沼 茂	61歳・花巻市	22分55秒	
女子	①笹原 桂子	60歳・山形県尾花沢市	37分47秒	5	
女子	②三上 静子	70歳・盛岡市	43分01秒		
女子	③佐々木 縫子	62歳・秋田県大仙市	46分18秒		



沿道からの声援を受け、書きまきまのこませいでゴールを目指して懸命に走る

第15回岩手山焼走りマラソン全国大会は8月6日、市役所前をスタートして岩手山のふもとを目指す2コースで行われました。招待選手の駒沢大学陸上競技部の選手をはじめ、遠くは神奈川県など全国から652人が参加し、日ごろ鍛えた健脚を競いました。市役所前で行われた開会式で田村正彦市長は「最後まで健闘を期待します」と選手を激励し、松尾中の高橋拳人君(1年)が「緑あふれる八幡平市を舞台に最後まで走り抜きます」と選手宣誓しました。同日は梅雨明けの青空が広がる好天で気温30度を超える炎天下でしたが、ランナーは沿道の声援を後押しし、標高差292m、10.8kmの焼走りコースと標高差60m、5.3kmのまきばコースの2コースを風のように駆け抜けました。終盤の上り坂にさしかかると、沿道からは一層力強い声援が送られ、ランナーは最後の力を振り絞ってゴールを目指しました。



自らお手本を示して部門1位になった佐々木暁子先生(前列中央)を囲み、互いの健闘をたたえる西根中の生徒たち



ゴール後は頭から水をかけるなど、炎天下を走り抜いたランナーをねぎらいました